

/// 支部だより /// 《愛媛県支部》

三笠会(神奈川歯科大学愛媛県支部同窓会)総会・学術講演会



去る平成15年6月28日(土)、松山全日空ホテルにおいて神奈川歯科大学同窓会及び学術講演会が開催されました。

まず総会が行われ、浅井謙次会長の挨拶の後、平成14年度決算報告、平成15年度事業計画について討議が行われました。

続いて神奈川歯科大学歯科薬理学助教授である李昌一先生をお招きして「歯科医療とフリーラジカル、活性酸素」という演題で学術講演会が行われました。歯科二大疾患であり生活習慣病である歯周疾患や顎関節症に対しての応用や、従来歯科用薬剤として頻用されてきた過酸化水素(H_2O_2)、次亜塩素酸($NaOCl$)などは生体においても重要な活性酸素種であることは御存じの通りですが、現在ではこのフリーラジカルを特異的に検出、同定可能である電子スピン共鳴(electron spin resonance; ESR)を用いて科学的根拠に基づいた新しくかつ安全な歯科薬剤の開発および歯科臨床法の開発・実現を目指して研究を行っているそうです。

今回の内容としては、

- (1) 生体、あるいは疾患における基礎知識と歯科臨床への研究
- (2) 新しい歯科医学の概念として歯科医療が「抗加齢」となりうる話
- (3) 生活習慣病・アルツハイマー病などの疾患を予防する重要な医療である科学的根拠
- (4) 「抗加齢歯科医学」の確立への研究を、御紹介していただきました。

歯科臨床への応用と抗加齢歯科医学への発展は大変興味深く会員達は皆、学生時代に戻ったように熱心に耳を傾けておりました。

学術講演の後には同ホテル内で懇親会が行われました。愛媛県歯科医師会より須之内淳二会長、在校生父兄代表として浅井仁先生、井手正洋先生、事務局より白石啓三事務局長、当会担当の名本留理子主事をお迎えし、いつもながら楽しく和やかな時間を過ごしました。

